

リスクマネジメント **News**

— 就学前施設（保育園・幼稚園・認定こども園等）向け
現場からのお役立ち情報 —

No. 33

発熱も気持ち悪さの訴えもない子どもが嘔吐 ～ケア・対処を慌てずに行うには？～

◆2歳児クラスのお昼寝の時間に、Hちゃんが布団の上で突然嘔吐してしまいました。朝は元気に登園しており、体調が悪い様子も見られませんでした。念のためノロウイルスなどの感染症を疑い、嘔吐物処理をしました。幸い、Hちゃんは感染症ではなく、他に体調不良を訴える園児も出ていませんでした。様々な感染症が流行する時期は、常に不安を感じながら対応しています。

◆子どもの嘔吐とケア

Hちゃんのように元気な子が突然吐くことがあります。そのような時は子どもを励ましながら安心できる場所に移し、子どもの全身状態（顔色、意識、呼吸、体温等）、嘔吐前後の様子や嘔吐物をよく観察して下さい。口の中の嘔吐物は取り除き、うがいができる子はうがいをさせます。しばらく安静にさせ、寝かせるときは嘔吐物が気管に入らないように横向きにします。吐き気が治ったら、脱水予防のために水分を少量ずつ与えます。他の子が、嘔吐した子をかからったりしないよう、配慮も必要です。

◆感染性胃腸炎かも（最悪の事態を考えて対応！）

今回のHちゃんは違いましたが、吐いた後、発熱や下痢がある・同じ症状が数人に見られるときは感染症「感染性胃腸炎」である可能性が高いと考えられます。主に冬に発生し流行するのはノロウイルス感染症で、感染力が強く集団発生しやすいです。症状として、下痢、腹痛、発熱もありますが、突然の嘔吐で始まることが多く、嘔吐が見られたとき、それが感染症であるのか、あるいは何の感染症かは判らないので、まず、感染力の強いノロウイルスの感染予防対応を行いましょう。

◆嘔吐物の処理（消毒）の方法

嘔吐が見られたら、急いで部屋の床や物品の消毒を行います。慌てないで行えるよう、感染症対応の嘔吐物処理用品のセット（使い捨て手袋・マスク・エプロン・ビニール袋・使い捨て布またはペーパータオル、新聞紙、消毒薬と希釈した消毒薬を入れる容器）を用意しておくといでしょう。処理手順の概要は次のとおりです。

処理手順

- 1) 手袋・マスク・エプロンをする
- 2) 部屋の換気を行い、嘔吐物を新聞紙で覆い、紙ごと外側から内側に向かって拭き取る
- 3) 2) の場所を、消毒薬（0.1%濃度の次亜塩素酸ナトリウム）を含ませた布などで覆って消毒する
- 4) 使用した布や紙、物品は、ビニール袋に密閉して廃棄する
- 5) 処理後は感染予防のため、十分に手洗い・うがいをする

◆子どもにもできるノロウイルス感染症の予防

ノロウイルスの感染は、患者の嘔吐物や便（ウイルスを多く含む）に触れたり（接触感染）、触れた手で触った物や食品を口に入れたり（経口感染）、乾燥した後に吸い込んだり（飛沫感染）することで起こります。予防には、嘔吐物や便に直接触れないこと、さらに、触れた・吸い込んだ可能性がある時には、手や口を清潔にすることが大事です。手洗い（手からウイルスを取り除く）、うがい（口の中からウイルスを取り除く）、マスク着用（口内を清潔に保ち、ウイルスを吸い込まないようにする）は、子どもにも可能で有効な予防方法です。

* 感染症のケアや消毒、予防の詳細については、こども家庭庁「保育所における感染症対策ガイドライン」を参照

**12月1月の一番寒い時期、安心して冬を乗り切るために、
基本を確実に抑えたケア・対処法をめざしましょう**



発行責任者 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
マーケット開発部 市場開発室
担当 堀江・赤石 TEL 050-3462-6444
執筆者 鳥居央子（保健師/日本こども育成協会公認講師）

担当課・支社 代理店